

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-17

4-I-17

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	各種施設のバリアフリー化
	節	I.アクセスマートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光交流機構、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性向上を図る。		
	【事業内容】	○公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など各種施設のバリアフリー化を推進する。		
事業計画と実績	【30年度計画】	●H29年度に実施したバリアフリー調査の分析と関係施設に対し補助制度の紹介を行う。		
	【30年度実績】	●改修補助制度により市内宿泊施設4件が制度を利用、バリアフリーに関する修繕3件を実施した。		
課題・今後の取組	【課題】	■バリアフリー導入には所要経費が必要であり、各団体へ必要性を周知する必要がある。		
	【今後の取組】	■各施設の整備状況を確認し、改修を行うためには多額の予算措置が必要であり、各団体の計画作成に向けて団体との意見交換を行う。 ■各宿泊施設には市単独補助制度を継続し利用促進を促すとともに各種補助制度の周知を行う。		
事業評価	【事業の達成度】	◇該当施設に周知をしたためBとする。 [ a ◯ b ・ c ]		
	【事業実施の効果】	[ a ◯ b ・ c ]		
	【総合評価】	[ A ◯ B ・ C ]		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。